

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 明治					
代表者名	氏名	松田 克也	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	東京都中央区京橋二丁目2番1号					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	乳製品・菓子、食品の製造販売等					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	1,818	1,763	1,906	1,904	1,878
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,753	3,640	3,951	3,957	3,778
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	166		174	132	148
自動車の台数	台	2		2	2	1
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	1				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

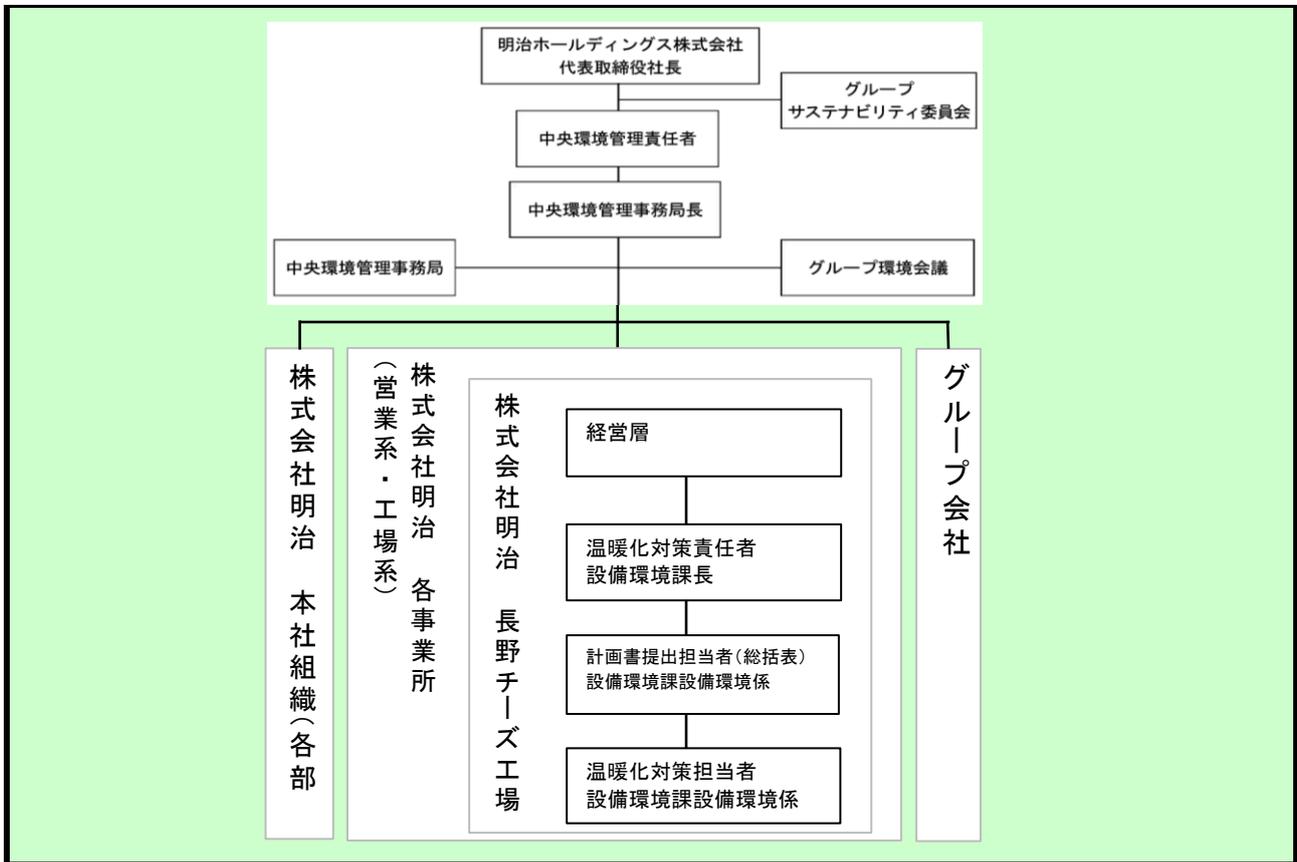
<input type="checkbox"/>	ホームページ	公表の要求があった場合、印刷物にて開示する。 閲覧可能な場所：株式会社 明治 長野チーズ工場 閲覧可能な時間：午前9時～午後4時まで（平日） 担当場所：設備環境課 連絡先：0267-63-5266
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

1. 国内外の環境にかかわる法令、条例、ステークホルダーとの協定、業界規範、自主基準を遵守します。
2. 環境マネジメントシステムを効果的に運用し、継続的な改善を図ります。
3. 商品の設計から廃棄に至るライフサイクル全般及びあらゆる事業活動において、生産性の向上、省資源、省エネルギーを推進し、環境負荷低減を図ります。
4. あらゆる事業活動において、グローバルな視野を持って生態系に配慮し、生物多様性の保全に努めます。
5. 自然を敬い、自ら進んで環境を考え行動する従業員を育成し、環境理念の実現を図ります。
6. 社会との対話や、環境活動への参画により、社会との共生を図ります。また、環境情報を適切に開示し、社会とのコミュニケーションを図ります。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- 環境推進委員会 (1回/月)
- 環境管理委員会 (4回/年)
- 原価検討会 (1回/月)
- 省エネパトロール (2回/年)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,753	t-CO ₂	生産数量	15.22	単位	kt
2019年度	調整後排出量	3,753	t-CO ₂	基準原単位	246.58	t-CO ₂ /	kt
目標年度	目標排出量	3,640	t-CO ₂	目標原単位	239.18	t-CO ₂ /	kt
2022年度	目標削減率	3.01	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	<p>①基準年度に対し物量3%増を想定する。 ②基準年度に対して原単位3%減を目標とする。</p>						
第一年度	排出量	3,951	t-CO ₂	生産数量	15.30	単位	kt
	削減率	-5.28	%	原単位	258.24	t-CO ₂ /	kt
2020年度	調整後排出量	3,951	t-CO ₂	原単位削減率	-4.73	%	
	削減率	-5.28	%				
排出量等の増減理由	<p>①品質向上の目的でボイラーを1台増設した影響で、重油使用量が増加した。 ②年間生産数量は前年と同等であったが、製品需給の影響で生産ラインの洗浄回数が増加し、原単位が悪化した。 ③新規生産設備導入に伴う試運転により、エネルギー使用量が増加した。</p>						
第二年度	排出量	3,957	t-CO ₂	生産数量	14.18	単位	kt
	削減率	-5.44	%	原単位	279.06	t-CO ₂ /	kt
2021年度	調整後排出量	3,957	t-CO ₂	原単位削減率	-13.18	%	
	削減率	-5.44	%				
排出量等の増減理由	<p>①エネルギー使用量が多い生産ラインの稼働が増え、エネルギー使用量が少ない生産ラインの稼働が減った為、全体としての生産数量は減少したが、エネルギー使用量は増加した。これにより原単位も悪化した。 ②生産計画や設備トラブルの影響により、生産数量に対して、生産ラインの洗浄回数が増加し、原単位が悪化した。 ③エネルギー使用量分を賄う有効な省エネ投資を実行できなかった。</p>						
第三年度	排出量	3,778	t-CO ₂	生産数量	14.28	単位	kt
	削減率	-0.67	t-CO ₂	原単位	264.52	t-CO ₂ /	kt
2022年度	調整後排出量	3,778	t-CO ₂	原単位削減率	-7.28	%	
	削減率	-0.67	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>①ボイラー燃料を重油から都市ガスへ切り替えたことにより、前年度より排出量と原単位の改善が出来た。しかしながら、切替時期が23年1月の為、削減効果が十分に影響しなかった為、当初の目標には到達しなかった。 ②生産数量が多いラインの稼働が減り、生産数量が少ないラインの稼働が横ばいだった為、原単位が改善しなかった。 ③エネルギー使用量分を賄う有効な省エネ投資が十分にされなかった。</p>						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	166	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	174	t-CO ₂			単位	
	削減率	-4.82	%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	132	t-CO ₂			単位	
	削減率	20.48	%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	148	t-CO ₂			単位	
	削減率	10.84	%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	1	t-CO ₂			単位
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位
				原単位		t-CO ₂ /
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位
				原単位		t-CO ₂ /
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位
				原単位		t-CO ₂ /
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	360703	BS充填機真空ポンプのINV化	2020	0.9	2020	0.9
2	エネ起	400201	厚生棟浴槽の小型化	2020	8.7	2020	8.7
3	エネ起	320205	ボイラーの効率的運用による省 エネ	2020	32.5	2021	32.5
4	エネ起	320351	蒸気配管への保温ジャケット設 置	2020	13.5	2020	29
5	エネ起	360799	エアードライヤーのINV化			2020	6.4
6	エネ起	370799	フォークリフトの電動化			2020	0.2
7	エネ起	330299	空調機省エネ対策			2021	69.5
8	エネ起	320351	保温による放熱ロス削減			2021	8.3
9	エネ起	320302	不良スチームトラップ更新			2022	152.9
10	エネ起	329999	ボイラー更新(A重油→都市ガス)			2022	441

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,753	1	3,951	1	3,957	1	3,778
1,500k1未満								
合計	1	3,753	1	3,951	1	3,957	1	3,778

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	166	174	132	148
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	166	174	132	148

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	1	1	1	1
合計	1	1	1	1
自動車総数	2	2	2	1
次世代車導入割合	50	50	50	100

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	無し
自転車利用促進	無し
来客者の交通対策	無し
物流の合理化	無し

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		1998年
	名称	ISO14001	
<input checked="" type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		2019年
<input checked="" type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		2021年
<input checked="" type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		2021年
<input checked="" type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		2021年
<input checked="" type="checkbox"/> RE100	<input checked="" type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	2021年
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

<p>・工場棟内で使用している、空調機計3台を以下の通りに更新を実施。</p> <p>冷房能力45.24[kW] COP2.43 → 冷房能力50[kW] COP3.16</p>
